

令和6年度事業報告

I 設立目的

本社は、環境と共生する快適なまちの形成に資するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、もって練馬区の健全な発展と、住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

II 沿革

【団体沿革】

昭和62年 財団法人練馬区都市整備公社設立
平成24年 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に移行

【事業沿革】

<土地区画整理事業>

平成4年～平成16年
土地区画整理事業事務局受託3地区（三原台三丁目、中里、三原台二丁目）

<市街地再開発事業>

平成5年～平成15年
市街地再開発事業事務局受託2地区（練馬春日町駅西地区、石神井公園駅北口地区）

<市街地整備事業>

平成22年～平成27年
貫井・富士見台地区、高松・向山地区まちづくり推進事業受託（完了）

<自転車事業>

平成元年 ねりまタウンサイクル事業業務受託
平成4年 区立有料自転車駐車場管理運営業務受託
平成17年 自転車集積所管理業務受託
平成18年 指定管理者制度によるねりまタウンサイクル・区立有料自転車駐車場の管理運営業務受託
放置自転車対策業務受託（撤去・保管・返還、問い合わせ対応等）
平成23年 公社立自転車駐車場開設
平成29年 自転車駐車場利用者サービス事業開始（収益事業）

<まちづくり・普及啓発事業>

平成18年 練馬まちづくりセンター開設（平成28年みどりのまちづくりセンターに改称）
平成23年 景観整備機構指定、練馬区景観形成支援事業受託
平成28年 みどり事業受託
平成29年 空家地域貢献事業受託
令和2年 防災まちづくり事業受託

<資源循環推進事業>

平成22年 練馬区資源循環センター管理運営業務受託
資源回収事業受託（収益事業）
平成27年 可燃ごみ・不燃ごみ収集業務受託
令和2年 蛍光管資源化事業受託
令和4年 不燃ごみ資源化事業受託

<温暖化対策事業>

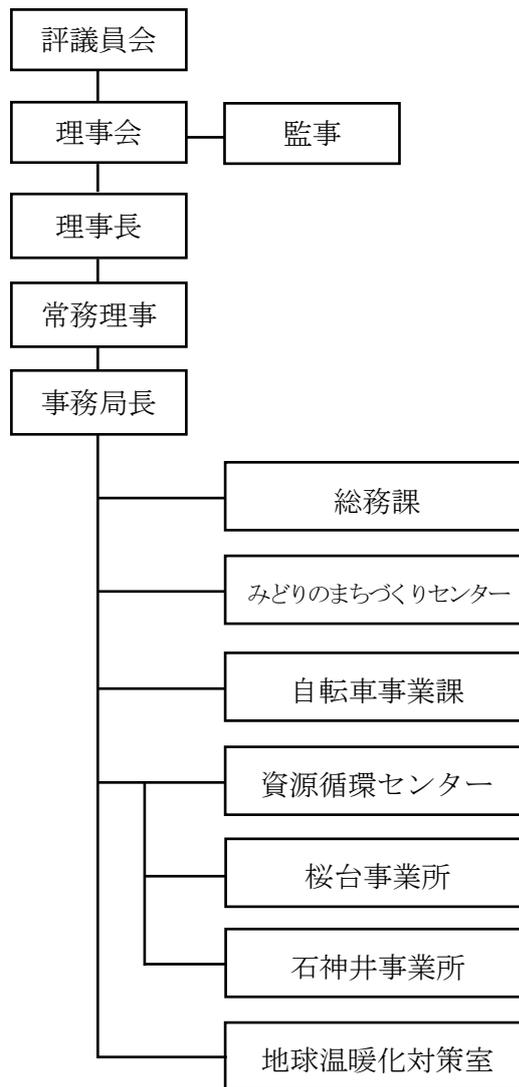
平成22年 練馬区地球温暖化対策地域協議会事務局業務受託

Ⅲ 基本財産

2億円（全額練馬区からの出資金）

Ⅳ 組織・社員数

（令和7年3月31日現在）



評議員 7名

役員 15名（理事長1名、常務理事2名、常勤理事1名、非常勤理事9名、
監事2名）

社員数 397名

V 事業目的

本社は、練馬区の行政を補完して、環境と共生する快適なまちを実現するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、住民福祉の向上に貢献していく。

これらの目的を達成するために、

- (1) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査研究およびその成果の普及
- (2) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発
- (3) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助
- (4) 練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援
- (5) 区と協働して取り組む、まちづくりの企画、立案および推進に関する事業
- (6) 自転車等の適正利用に関する事業
- (7) 資源循環の推進に関する事業
- (8) 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業
- (9) 地球温暖化の防止対策に関する事業
- (10) その他会社の目的を達成するために必要な事業

を実施している。

令和6年度における各事業の実施状況について、以下にその概要を報告する。

VI 事業報告

1 みどりのまちづくりセンター事業 [定款第4条第1項第1～3号]

(1) みどり・景観事業の推進

① 憩いの森等の区民管理活動の支援

憩いの森等を保全・活用する区民団体の拡充に向けて、管理活動を希望する団体の相談等に対応するとともに、12か所の憩いの森等で管理団体の活動を支援した。

<管理活動を希望する団体支援>

管理活動を希望する団体の相談等に対応し、区との管理運営委託契約が成立した。

- ・上石神井憩いの森（令和6年6月）
- ・けやき憩いの森（令和7年4月）

<活動支援>

定例活動やイベント時の立ち会い、相談対応、専門家派遣などを実施した。

1) 上石神井憩いの森（上石神井4-13〈令和6年6月〜〉）

【管理団体】かみしゃく森部

- ・定例活動立ち会い

2) 竹の子憩いの森（西大泉1-22〈令和5年10月〜〉）

【管理団体】特定非営利活動法人トントウハウス

- ・イベント立ち会い（12/9 バイネスト作成交流会〈他3団体参加〉）
- ・定例活動立ち会い

3) きたっぱら憩いの森（谷原3-9〈令和5年10月〜〉）

【管理団体】明治大学校友会 練馬区地域支部

- ・専門家派遣（6/12.17 植生調査〈樹木〉、9/17.20 植生調査〈秋の草本〉）
- ・イベント立ち会い（3/30 植物観察会）
- ・定例活動立ち会い

4) 高松しいのき憩いの森（高松1-35〈令和5年6月〜〉）

【管理団体】NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会 3B!!!s

- ・イベント立ち会い（11/16 染め物体験、ハンモック体験）
- ・専門家派遣（3/27 低木剪定）
- ・定例活動立ち会い

5) 石庭の森緑地（東大泉7-50〈令和5年4月〜〉）

【管理団体】石庭みどり会

- ・花壇植え替え立ち会い (6/13)
 - ・イベント立ち会い (7/6 七夕まつり)
 - ・定例活動立ち会い
- 6) 和田前憩いの森 (下石神井 3-25 〈令和4年11月〜〉)
【管理団体】練馬植樹推進会
- ・定例活動立ち会い
- 7) 千坪憩いの森 (東大泉 5-11 〈令和4年11月〜〉)
【管理団体】隠れ家つながり隊
- ・専門家派遣 (7/27 植物観察会)
 - ・定例活動立ち会い
- 8) 中ノ宮竹林憩いの森 (春日町 6-13 〈令和4年4月〜〉)
【管理団体】クモリン緑化花の会
- ・定例活動立ち会い
- 9) 西本村憩いの森 (大泉学園町 2-23 〈令和3年4月〜〉)
【管理団体】西本村憩いの森ファンクラブ
- ・イベント立ち会い (6/30 大泉ファーマーズマーケット 〈地域連携〉)
 - ・専門家派遣 (4/7 ウラシマソウ観察会)
 - ・定例活動立ち会い
- 10) 大関山の森緑地 (関町北 4-33 〈令和3年4月〜〉)
【管理団体】大関山森もりクラブ
- ・イベント立ち会い (4/6 春の植物観察会、11/3 秋のフェア、12/14 腐葉土作り体験)
 - ・センター社員による剪定指導 (5/29)
 - ・花壇植え替え立ち会い (9/25)
 - ・大学生による調査研究の立ち合い (11/20)
「実測値を用いた公園緑地の雨水浸透機能の評価に関する研究」
 - ・定例活動立ち会い
- 11) 南高松の森緑地 (高松 2-14 〈令和2年4月〜〉)
【管理団体】南高松憩いの森ファンクラブ
- ・イベント立ち会い (4/20 緑地化に伴うオープニングイベント、9/21 コケや樹木のお手入れ体験、11/16 落ち葉遊び)
 - ・専門家派遣 (4/20 森ガイドウォーク)
 - ・活動通信「森もりファンクラブ通信」の区立施設への配布協力

12) うめのき憩いの森 (北町 5-3 (令和 2 年 4 月～))

【管理団体】北西うめのき会

・イベント立ち会い (6/8 ウメの実収穫祭)

<憩いの森等の区民管理活動団体交流会の開催>

団体間の横のつながりをつくることや、各団体のモチベーション・管理技術の向上などを目的に「憩いの森等の区民管理活動団体交流会」を開催した。

開催日：令和 6 年 10 月 19 日 (土)

場 所：南高松の森緑地

参加者：7 団体 23 名

○ねりまの森子どもフェスタの開催

憩いの森等での活動内容を区民に広く周知し、地域に親しまれる森となるよう、スタンプラリーでつなぐ「ねりまの森子どもフェスタ」を初めて開催した。

開催日：令和 6 年 6 月 30 日 (日) から 11 月 24 日 (日) までの間の 12 回

参加団体：8 団体

参加者：延べ 1,188 名 (大人 652 名、子ども 536 名)

開催日	場 所	開催内容	参加者
6/30 (日)	西本村憩いの森	草引っこ抜き競争、森を巡って宝探し、スラックライン体験	160 名
7/6 (土)	石庭の森緑地	七夕飾りづくり	113 名
7/27 (土)	西本村憩いの森	昆虫博士と一緒に森の虫探し	57 名
7/27 (土)	千坪憩いの森	森の写生会	238 名
9/14 (土)	千坪憩いの森	ランタンづくり	176 名
9/21 (土)	南高松の森緑地	コケや樹木のお手入れ体験	17 名
9/22 (日)	きたっばら憩いの森	モルック大会、森のお掃除体験	32 名
11/3 (日)	大関山の森緑地	植物観察ガイドウォーク、クラフトワーク	74 名
11/10 (日)	中ノ宮竹林憩いの森	宝探し、竹ポックリ体験	109 名
11/16 (土)	高松しいのき憩いの森	染め物体験、ハンモック体験	63 名
11/16 (土)	南高松の森緑地	森のお手入れ体験、落ち葉遊び	44 名
11/24 (日)	きたっばら憩いの森	モルック大会、森のお掃除体験	105 名

② 地域ぐるみのみどり保全活動の普及

保護樹林等を維持管理している所有者の負担を軽減し、民有地のみどりを地域で守り育てるため、公募による区民と落ち葉清掃活動を6か所で実施した。また、区民の主体的な活動につなげていくため、「運営サポーター制度」を2か所で本格実施した。また、サポーターミーティングを開催するなど制度の充実に努めた。

実施期間：令和6年11月19日～12月23日

実施場所：中村・関町北・立野町・谷原・豊玉中・大泉学園町
(各場所4回、全24回実施)

運営サポーター：延べ34名(立野町、谷原1丁目の落ち葉清掃活動に参加)

活動地域	活動日	活動回数	参加者
① 中村3丁目	11/25、12/1、12/11、12/18	4回	49名
② 関町北3丁目	11/27、12/4、12/14、12/21	4回	41名
③ 立野町	11/24、12/8、12/16、12/22	4回	67名
④ 谷原1丁目	11/21、11/28、12/12、12/19	4回	57名
⑤ 豊玉中1丁目	11/19、11/30、12/7、12/13	4回	19名
⑥ 大泉学園町4丁目	11/26、12/9、12/15、12/23	4回	25名
計		24回	258名

回収落ち葉量：20,700ℓ(45ℓゴミ袋換算約460袋分)

※回収した落ち葉の一部は、堆肥づくりに活用

③ つながるカレッジねりま「みどり分野」の運営

花壇管理を担う人材育成を目的とした「コミュニティ・ガーデナーコース」4期目の講座運営、修了後の活動に向けての相談、マッチングを行った。

憩いの森等を守り育てるための管理技術や安全管理を学ぶ「ねりまの森維持管理コース」3期目の講座を運営した。

項目	内容
コミュニティ・ガーデナーコース	講座運営(受講生21名中19名が修了) 21名中6名が新規花壇(3か所)立ち上げ、9名が既存の区民協働花壇団体に新規加入、9名が所属団体での活動を継続 ※複数団体所属や新規立ち上げ等の重複あり 令和7年度に向けての講座資料等の準備
ねりまの森維持管理コース	講座運営(樹木専攻15名、草地専攻15名<重複受講者12名>全員修了) 18名中2名が憩いの森区民管理団体に新規加入、17名が所属の憩いの森区民管理団体での活動を継続 ※重複あり 令和7年度に向けての講座資料等の準備

④ みどりを守り育てる人材の登録・紹介

みどり活動に関心のある区民をボランティアとして登録し、活動団体に紹介する「練馬みどりの人材バンク」を運用した。また、ボランティアが気軽に安心して活動に参加できる機会を提供し、ボランティア登録者の増加につなげていくため、新たに「お手入れ体験会」を開催した。

登録状況：個人ボランティア 268 名、登録団体 35 団体

ボランティアと団体のマッチング：108 件

情報発信：メールマガジン発行（月 1 回、臨時号含め 16 回発行）

<練馬みどりのお手入れ体験会>

[第 1 回]

開催日：令和 6 年 6 月 20 日（木）

場 所：中村橋駅前花壇

内 容：花壇の植え替え、お手入れ体験

参加者：3 名

[第 2 回]

開催日：令和 6 年 11 月 23 日（土）

場 所：おもかげの森緑地

内 容：キツネノカミソリ生息地、ニリンソウ群生地の保護柵設置など

参加者：2 名

⑤ 景観形成支援

これまでに登録された地域景観資源をアーカイブするため、内容などの整理を行った。景観まちなみ協定については、制度の見直しに向けて、既存協定団体に活動状況や制度内容等についてヒアリングを行った。また、区ホームページ「ねりま景観まちづくり」を運用し、情報発信をした。

(2) まちづくり事業の推進

① まちづくり啓発

1) まちづくり講座の開催

センターの有効な活用方法を知ってもらうことや、センターのこれからの活動・活動支援について考えることを目的に「みどりのまちづくりセンター OPEN DAY」を開催した。

開催日・場所	内 容	参加者
11 月 27 日（日） みどりのまちづくり センター	トークセッション：「ねりまの『まちづくり活動』と『センター』を振り返る」 パネリスト： ①小泉秀樹氏（東京大学大学院教授） ②杉崎和久氏（法政大学教授） ③中島 伸氏（東京都市大学准教授）	トーク セッション 参加者 42 名

	その他： ・センター紹介展示 ・センター機能の体験 ・まちづくりゲーム 「ボード上で理想のまちを！」	
--	--	--

2) まちづくり活動助成

区民主体のまちづくり活動を支援し、活性化することを目的に、活動団体に助成を行った。「みどり・はばたき部門」は、4月に活動報告・審査会を開催し、10団体への助成を決定した。「たまご部門」は、書類審査により6団体の助成を決定した。

また、現行制度の検証を行うとともに、審査委員や活動団体にヒアリングを実施し、まちづくり活動助成制度の見直しを行った。

[みどり・はばたき部門]

身近な生活空間や都市環境の保全・改善・創造につながり、成果が地域へ還元されることが期待できるまちづくり活動に対する助成 (単位：円)

	団体名／活動提案名	助成金額
1	まちとみどりの実験室 ／石神井台3丁目集合住宅緑化プロジェクト	180,000
2	としまえん水と緑の公園で遊ぶ会 ／水と緑の遊びのアクティビティを通じて多世代を紡ぐ	180,000
3	川と水辺を楽しむプロジェクト ／実践的 大人の自然体験塾	180,000
4	ひと・みどり・コミュニティの会 ／団地のみどりの再生	199,000
5	けやきのいえ 妙 TAE ／大きな樺の木が立つ南大泉のいえと庭を遊びつくそう！	176,000
6	CONNECT 実行委員会 ／公園で地域のレジリエンス力強化	232,000
7	南大泉だれでもガーデン ／地域と育む南大泉ナチュラルガーデン	270,000
8	ガーデンプロジェクトTime ／地球にやさしいナチュラルなコミュニティガーデン	180,000
9	江古田 eco コスプロジェクト ／コスプレでごみ拾い 環境問題と地域コミュニティづくり	270,000
10	OTOKAMI PRODUCERS ／音と紙を用いて地域の文化と経済の活性化を図る	270,000
	計	2,137,000

[たまご部門]

身近な生活空間の保全・改善・創造のためのまちづくりを始めるにあたっての活動に対する助成 (単位：円)

	団体名／活動提案名	助成金額
1	シャカイノアート ／自然×アートなエンタメを活用した社会の「場」づくり	100,000
2	市民団体光が丘プレーパーク ／大人の居場所プレパカフェ	100,000
3	ねりま農サポーター有志の会 ／練馬区内の農地保全への支援活動及び支え手の技術向上をはかる	100,000
4	コモンリビング ototoilo ／心も身体も元気になれる♪四季折々の上石神井の ototoilo ガーデン	100,000
5	かみしゃく森部 ／せき・かみしゃくシンカプロジェクト (森化プロジェクト)	54,000
6	WE LOVE 白子川の会 ／白子川テラスの水辺環境改善と、子供たちの川の楽しさ体験	80,000
計		534,000

3) まちづくり情報誌の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、地域やみどりをテーマにまちづくり情報誌「こもれび」を発行した。

規 格：タブロイド判カラー (8月4ページ、2月8ページ)

発行部数：8月20,000部、2月30,000部

配置場所：区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局、特集地区内新聞折込等

発行号	発行月	内 容
第82号	8月	小竹町地域特集 みんなで歩いた小竹町の公園たんけん
第83号	2月	みどり特集 ねりま産の花がある風景特集

4) ホームページ等による情報発信

センターの事業、センター登録団体の活動情報等、まちづくりに関する情報をホームページで発信した。

② まちづくり相談

1) 窓口相談

個人 延べ156名、団体 延べ158団体

2) まちづくり登録団体支援

登録団体に対し、センターに設置してある印刷機の利用やプロジェクター等の貸出しの支援を行った。

登録団体数：187団体

利用団体数：延べ80団体

3) まちづくり交流事業

登録団体に、イベント情報やまちづくり活動のスケジュール等を郵送（4月・6月・8月、各1回）し、団体間の交流を促進した。また、メールアドレス登録者に対し、メールマガジンによりまちづくり情報を発信（4月～9月、各月1回）した。

4) 「情報コーナー」運営

まちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等を自由に閲覧できるよう、センター「情報コーナー」に配架している。

5) 建築無料相談の後援

一般社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部が実施する建築無料相談事業（毎月第4月曜）を後援した。

相談件数：38件

③ まちづくり条例に基づく地区まちづくり協議会等の支援

「高野台5丁目中央地区住みよいまちづくりの会」、「武蔵関・環境を守る会」の活動を継続的に支援するとともに、新たに「みんなで育てるやくも公園の会」の活動支援を開始した。

1) 高野台5丁目中央地区住みよいまちづくりの会（総合型まちづくり協議会）

項目	内容
窓口対応業務	まちづくり憲章窓口説明：27回
団体支援	団体発行ニュースの作成支援：6回

2) 武蔵関・環境を守る会（総合型まちづくり協議会）

項目	内容
窓口対応業務	建築協定に関する窓口説明：13回

3) みんなで育てるやくも公園の会（施設管理型まちづくり準備会）

項目	内容
団体支援	まちづくり条例に基づく準備会登録に向けた手続き事務支援 準備会の登録：7月19日 準備会活動支援 ・定例会の運営補助（6回） ・ワークショップの企画と実施、調査 ・情報発信（ニュースの発行、ポスター告知、SNS発信） ・日本大学芸術学部との連携

④ 地区まちづくり活動支援

1) 江古田駅周辺地区

江古田駅南口広場に整備された花壇について、旭丘一丁目町会および西武鉄道練馬駅管区との協働による維持管理活動を支援した。また、花壇で利用するため、駅周辺の清掃で集めた落ち葉を活用した腐葉土づくりを支援した。

日本大学芸術学部と連携して、大学等の卒業・入学シーズンに合わせ、花壇に学生が制作した横断幕を設置し、江古田のまちをPRした。

江古田駅地下横断歩道の「江古田ウィンドー」に、小竹町を地域特集したまちづくり情報誌「こもれび」のパネルや、江古田のまちの芸術祭での作品を展示した。

2) 北町地区

まちの活性化と自転車適正利用を目的とする「北町まちづくり協議会」の活動を、自転車事業課と連携して支援した。また、「北町節分スタンプラリー」（2/3～3/2）の企画運営を支援した。

3) 大泉学園町地区

地域住民有志によるオープンガーデンイベント「ちゃい旅」（春：4/12～4/14、秋：10/25～10/27）の企画運営を支援した。

「学園ひろば」の公園整備に関する団体活動支援として、意見交換会のまとめ等を行った。また、空き家活用やまちの写真展に関する相談に対応した。

4) 農の風景育成地区（高松・南大泉）

高松地区に関わるまちづくり活動団体等で構成する「高松まちづくり会議」の事務局を担い、構成団体の「ねりま高松農の風景育成地区実行委員会」とともに、農の風景を活かしたまちづくりを支援した。また、区からの要請を受けて「高松みらいのはたけ運営連絡会」に参加した。

南大泉地区の「南大泉農の風景育成地区実行委員会」の「南大泉 with 農フェスタ 2024」イベントの企画検討に参画し、事業の運営を支援した。

⑤ 空き家等地域貢献活用

空き家所有者や活用希望者からの相談対応、内覧会・マッチング等を行い、1件の契約が成立した。また、空き家に関する様々な悩みに対する相談対応を強化するため、新たに「無料空き家なんでも相談会」を毎月開催した。

<契約成立案件>

契約日・場所	団体名	活用内容
上石神井地区 合意成立：5月21日 契約成立：8月2日	コモンリビング ototoilo	乳幼児の親子や高齢者など地域の方が交流し、みんながいきいきと暮らせる地域づくり

登録：空き家所有者 5件 空き家活用希望者 28件
相談：空き家所有者 36件 空き家活用希望者 90件

<無料空き家なんでも相談会>

開催場所：練馬区役所1階アトリウムほか

開催日と対応団体：A（4/22、7/22、9/24、11/25）

B（5/27、8/26、10/28、12/23、2/25）

A・B（6/16、1/18）

A 東京司法書士会、(公社)全日本不動産協会練馬支部、(一社)東京都建築士事務所協会練馬支部、東京土地家屋調査士会練馬支部

B 東京都行政書士会、(公社)東京都宅地建物取引業協会、(一社)東京都建築士事務所協会練馬支部、みどりのまちづくりセンター

相談件数：105件

⑥ 建築物のバリアフリー化協働推進

区民、事業者等が施設等のバリアフリー化を実現するために必要な知識や技術の学習機会の提供や、区立施設の新設、改修に伴う区民意見の聴取を行った。

項目	内容
普及啓発	<p><区職員向け講座> 9/30 車いす体験で身につく公共施設をより使いやすくするためのつくり方 開催場所：練馬区役所 地下多目的会議室 参加者数：13名</p> <p><一般、事業者向け講座> 12/7 令和6年度 民間事業者向け研修（基礎編） ユニバーサルデザイン講座 みんなのためのまち・お店づくりを考える 開催場所：練馬区立区民・産業プラザ 研修室1 参加者数：21名</p>

	<p><事業者向け講座></p> <p>12/4 令和6年度 民間事業者向け研修 応用編 空き家の福祉転用事例から学ぶ バリアフリー改修の工夫とポイント</p> <p>開催場所：はなももハッピー石神井台 (障害者施設・地域の居場所)</p> <p>参加者数：21名 ※オンライン同時配信</p>
区民意見聴取	<p>区立施設の改修、新設における区民モニターからの意見聴取</p> <p>6/13 平成つつじ公園</p> <p>9/6 北保健相談所</p> <p>11/5 希望が丘公園 (新設)</p> <p>3/26 石神井小学校</p>

(3) その他事業

① 調査研究

1) 大学連携等による調査研究

センターの中間支援組織としての機能を強化し、練馬区のまちづくりにつなげることを目的に、大学等と連携して調査研究を行っている。令和6年度は、試行として一般公募により3大学との連携を決定し、助成金を交付した。また、まちづくり活動団体やセンターの取り組みと合わせて「景観・まちづくり研究発表会」を開催した。

<連携大学>

東京大学大学院工学系研究科、千葉大学大学院園芸学研究科、奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科

<令和7年度 練馬区景観・まちづくり研究発表会>

開催日：令和7年2月27日(木)

開催場所：練馬区職員研修所

発表件数：10件(大学生等5件、まちづくり活動助成団体1件、社員4件)

参加者数：41名

【セッション1】市民参加・協働のまちづくり

(1) 市民参加・協働の実践を支える公的セクターのこれからの役割

みどりのまちづくりセンター 田端友紀子

(2) 持続的なまちづくりを促進する地域公共人材ネットワークに関する研究

～板橋区・練馬区における子育て支援団体を対象として～

東洋大学大学院 日笠山 葵

【セッション2】まちとみどり

(3) 【報告】かつての農村「練馬」の昔と今

～その7：特定生産緑地2032年問題の解決に向けた「援農まちづくり活動」に関する考察～

みどりのまちづくりセンター まちづくり事業係 山口忠志

(4) まちとみどりの実験室

池田雪絵大野俊治一級建築士事務所 池田雪絵 大野俊治

<p>【セッション3】空き家活用・マッチング</p> <p>(5) 東京都区部の空き家マッチング事業における行政の支援及び相談体制に関する研究 芝浦工業大学大学院科 市川航太</p> <p>(6) 空き家活用促進を視野にいれた都区部の取組比較について みどりのまちづくりセンター 佐藤寛子</p> <p>(7) 練馬区空き家地域貢献事業の実態と課題について その1・その2 みどりのまちづくりセンター 田中梨香</p>
<p>【セッション4】令和6年度 大学連携による研究助成 助成対象研究</p> <p>(8) 都市の自然に対する価値観の多様性 東京大学大学院 都市工学専攻 田邊 萌</p> <p>(9) 実測値を用いた公園緑地の雨水浸透機能の評価に関する研究 ～東京都練馬区を対象として～ 千葉大学大学院 園芸学研究科 板谷 俊太郎</p> <p>(10) 東京都練馬区の農住混在地域における農的空間の類型化に関する研究 ～高松一・二・三丁目農の風景育成地区を事例として～ 奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科 田中麻美子</p>

2) 市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査研究活動として、首都圏・名古屋市等の自治体・まちづくり団体で構成されている「市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議」に参加している。7月にオンラインによる総会が開催され、他団体と情報交換を行った。

② みどりのまちづくりセンター運営協議会

センター事業の実施等について助言を行う機関である「みどりのまちづくりセンター運営協議会」をオンラインで開催した。

開催日・場所	内 容	出席委員
7月4日(木) 公社会議室他	令和5年度事業報告 令和6年度事業計画 令和5年度中期経営計画の評価結果 中期経営計画(令和6年度～8年度) 調査研究・大学連携の進め方	9名
1月22日(水) 公社会議室他	令和6年度事業報告(4月～12月)	9名

2 自転車等の適正利用に関する事業〔定款第4条第1項第4号〕

(1) 自転車駐車場・タウンサイクルの管理運営

① 区立有料自転車駐車場およびねりまタウンサイクル

指定管理者として、区立有料自転車駐車場、ねりまタウンサイクルの管理運営を行った。その中で、事務手続きのデジタル化を推進し、Webでの学生証の確認、補欠繰り上げ施設での定期利用申込（支払い）を実現した。

また、令和6年2月から窓口でのキャッシュレス決済（各種クレジットカード、交通系IC、スマホコード決済）を開始し、収入に占める割合が44%程度まで増加した。

<施設数・収容台数>

区 分	令和7年3月31日現在	令和6年3月31日現在	前年比増減
有料自転車駐車場	73施設 38,105台	73施設 38,069台	施設増減なし36台増
(うち原動機付自転車)	(29施設 695台)	(29施設 695台)	増減なし
タウンサイクル	7施設 2,700台	7施設 2,700台	増減なし
合 計	80施設 40,805台	80施設 40,769台	施設増減なし36台増

<台数変更等施設（1施設）>

	施設名	収容台数	前年比増減
施設拡張	豊島園駅西	358台	36台
合 計			36台

<収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数（人/月） (B)			一時利用人数（人/日） (C)
		一般	学生	減免	
有料自転車駐車場	38,105台	17,776人	5,230人	1,945人	10,474人
タウンサイクル	2,700台	1,344人	312人	128人	

<施設利用率>

区 分	令和6年度	令和5年度	前年比増減
有料自転車駐車場	93%	95%	△2ポイント
タウンサイクル	66%	72%	△6ポイント

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

② 公立自転車駐車場

<施設一覧>

	名称（開設年月日）	施設概要
1	練馬駅つつじ (R1. 11. 1)	時間利用 収容台数：162 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
2	豊島園駅前 (H23. 11. 1)	時間利用 収容台数：63 台 12 時間毎 100 円（最初の 2 時間無料）
3	石神井公園駅東 (H26. 3. 1)	時間利用 収容台数：303 台（うち 5 台は原付） 12 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料） （原付 12 時間毎 200 円 [最初の 2 時間は無料]） 定期利用 収容台数：685 台
4	石神井公園駅東拡張 (R1. 6. 28)	時間利用 収容台数：40 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
5	石神井公園駅西 (H26. 3. 1)	時間利用 収容台数：308 台 12 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料） 定期利用 収容台数：564 台
6	石神井公園ポート池東 (R3. 4. 1)	定期利用 収容台数：106 台
7	石神井公園駅こぶし (R5. 3. 1)	時間利用 収容台数：74 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
8	石神井公園駅こぶし第 2 (R5. 10. 27)	時間利用 収容台数：19 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
9	大泉学園駅さつき (R3. 7. 16)	時間利用 収容台数：62 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
10	氷川台駅さくら (H30. 5. 1)	定期利用 収容台数：135 台
合 計	10 施設	2,521 台（うち原付 5 台）

<収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数（人/月） (B)			一時利用人数（人/日） (C)
		一般	学生	減免	
公立有料 自転車駐車場	2,521 台	1,097 人	336 人	106 人	1,451 人

<施設利用率>

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年比増減
公立有料自転車駐車場	119%	121%	△2ポイント

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

(2) 放置自転車対策事業

練馬区からの受託事業として放置自転車対策事業を行った。令和6年度に今後の撤去方法、誘導・案内業務の方法について区に提案を行い、令和7年度より開始することとなった。

また、撤去業務と合わせて、各駅別の自転車等の乗り入れ台数について令和6年5月、11月に実態調査を行った。

① 放置自転車等の撤去実績

区 分	令和6年度	令和5年度	前年比増減
自 転 車	3, 8 7 3 台	4, 5 0 1 台	△ 6 2 8 台
原動機付自転車	4 1 台	2 8 台	1 3 台
合 計	3, 9 1 4 台	4, 5 2 9 台	△ 6 1 5 台

<放置率>

区分	放置率			放置台数		
				乗り入れ台数		
	R6	R5	差	R6	R5	差
平日(午前)	1.2%	1.0%	0.2 ㊦	248 台	242 台	6 台
				21, 388 台	24, 695 台	△3, 307
平日(午後)	1.5%	1.6%	△0.1 ㊦	343 台	438 台	△95 台
				23, 370 台	26, 758 台	△3, 388

※放置率 放置自転車等台数 / 乗り入れ自転車等台数

※5月の乗り入れ台数調査データより

② 自転車集積所の管理運営（撤去自転車の保管・返還）

返還日時 毎日（年末年始を除く）、午前9時30分から午後5時30分まで

撤去手数料 自転車4,000円、50cc以下の原動機付自転車7,000円

保管期間 撤去日の翌日から1か月間

<自転車集積所一覧>

施設名	所在地	開設年月日	収容可能台数
中村自転車集積所	中村一丁目9番14号	平成元年10月1日	2, 1 0 0 台
平和台自転車集積所	早宮二丁目18番35号	平成9年5月1日	1, 0 0 0 台
石神井台自転車集積所	石神井台三丁目17番16号	平成5年8月1日	1, 0 0 0 台
富士見台自転車集積所	富士見台三丁目30番20号	平成17年10月1日	3, 6 0 0 台
合 計		4施設	7, 7 0 0 台

<返還実績>

区 分	令和6年度	令和5年度	前年比増減
保管自転車等台数 (A)	3, 880台	4, 471台	△591台
返還自転車等台数 (B)	2, 202台	2, 548台	△346台
返 還 率	56.8%	57.0%	△0.2ポイント

※返還率 (B) / (A)

※保管自転車等台数は、撤去台数から廃棄台数（使用できない自転車等）を減じた台数

③ 自転車駐車場への誘導・案内

放置自転車の抑制と自転車駐車場への誘導を目的として誘導員を配置した。配置駅15駅の放置禁止区域内の重点エリア（放置自転車が多い場所）を15分から30分毎に巡回し、誘導案内業務を実施した。

平日 14駅（江古田・練馬・中村橋・富士見台・練馬高野台・石神井公園・大泉学園・上石神井・武蔵関・東武練馬・氷川台・平和台・地下鉄赤塚・光が丘）

土日 14駅（平日配置駅から東武練馬を除き、豊島園を加える）

<誘導員の配置実績>

	令和6年度	令和5年度	前年比増減
延べ配置箇所	12, 077箇所	12, 981箇所	△904箇所
延べ時間数	33, 555時間	36, 093時間	△2, 538時間

④ 放置自転車等の問い合わせ対応

自転車問い合わせセンターの運営

受付日時 毎日（年末年始を除く）、午前8時30分から午後5時30分まで

（ただし、土日祝は午前9時30分から午後5時30分まで）

<内容および件数>

区 分	令和6年度	令和5年度	前年比増減
即時撤去	2, 110件	2, 295件	△185件
赤札撤去	918件	1, 107件	△189件
駐輪場案内	2, 925件	3, 362件	△437件
その他	26件	48件	△22件
合 計	5, 979件	6, 812件	△833件

※即時撤去は、放置禁止区域内の放置自転車撤去に対する問い合わせ

※赤札撤去は、放置禁止区域外の放置自転車撤去に対する問い合わせ

(3) 公社自主事業

① 無料自転車駐車場の管理運営

練馬区との協定に基づき、公社の自主事業として無料自転車駐車場の管理運営を行った。

<施設数および収容台数>

区 分	令和7年3月31日現在	令和6年3月31日現在	前年比増減
無料自転車駐車場	5施設 1,019台	5施設 1,019台	増減なし
(うち原動機付自転車)	(1施設 14台)	(1施設 14台)	増減なし

② 自転車対策地域協議会

鉄道駅周辺の放置自転車問題を地域のまちづくりの課題として捉え、地域自らが解決に取り組むため、駅周辺の商店会や町会等に働きかけ、自転車対策地域協議会として活動を行っている。

■ 自転車対策地域協議会

地域	活動等	
江古田	7月 10月/3月 10～11月 3月 毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・南口花壇内に「放置自転車やめよう」横断幕を設置 ・地域イベント（江古田のまちの芸術祭）にて江古田駅自転車駐車場を展示スペースとして貸出 ・新春交歓会 ・南口広場の美化活動および南口広場花壇・江古田駅自転車駐車場前植栽の維持管理
練馬	月1回 適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の清掃活動 ・啓発バナー掲出（千川通り等）
中村橋	6月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・地域イベント（中村橋阿波おどり）にて中村橋駅東・西自転車駐車場を無料開放
石神井公園	5月 適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・駅周辺の清掃活動
北町 (東武練馬)	4月 12～2月 2～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・北町二丁目自転車駐車場の管理を委託 ・北町二丁目自転車駐車場にてイルミネーションを実施 ・地域イベントにあわせた利用促進啓発グッズを配布 ・自転車駐車場PRを兼ねたスタンプラリーを実施

■ 連携団体他

地域	活動等	
練馬	隔月	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬警察署との合同による自転車盗難防止の啓発
桜台	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント（桜台フードフェスタ）にて桜台駅西自転車駐車場の利用時間を2時間無料から6時間無料に延長
富士見台	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージを活用した連携PR（富士見台本町通り商店会・富士見台商栄会）
南大泉 (保谷)	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント（南大泉農フェスタ）にあわせた南大泉自転車駐車場への駐輪誘導

(4) その他

① 被災者へのタウンサイクル自転車の無償貸出

東日本大震災の被災者（区内在住者）に対して、タウンサイクル自転車の無償貸出を継続した。

貸出人数：1人

② 非常用蓄電装置の配備

大泉学園駅南口タウンサイクル、平和台駅前地下自転車駐車場の2施設に非常用蓄電装置を配備した。

<配備施設数>

区 分	令和7年3月31日現在	令和6年3月31日現在	前年比増減
非常用蓄電装置	5施設	3施設	2施設

③ 電動アシスト自転車バッテリー充電ロッカーの設置

江古田駅自転車駐車場、石神井南、上石神井の3施設に電動アシスト自転車バッテリー充電ロッカーを設置した。

<設置施設数>

区 分	令和7年3月31日現在	令和6年3月31日現在	前年比増減
電動アシスト自転車 バッテリー充電 ロッカー	7施設	4施設	3施設

④ 自転車駐車場利用者サービス事業

非常災害時に飲料の無料提供が可能な飲料自動販売機を自転車駐車場に設置した。そのうち約半数の機器はデジタルサイネージ機能を搭載し、非常災害時の情報発信だけでなく天気予報、交通情報、地域情報の日常情報の発信を行った。

その他、利用者から要望のあった宅配ボックス（1台）の設置を継続した。

<設置台数>

区 分	令和7年3月31日現在	令和6年3月31日現在	前年比増減
飲料用自動販売機	14施設 22台	14施設 22台	増減なし
宅配ボックス	1台	1台	増減なし

3 資源循環の推進に関する事業〔定款第4条第1項第5号〕

公社は、循環型社会の形成に寄与することを目的に、区内の家庭から排出される粗大ごみの収集事業等の資源循環推進事業および練馬区資源循環センター（以下「センター」という。）の管理運営を区から受託している。

センターでは、区民が粗大ごみ等を持ち込みできる事業や粗大ごみの再使用事業、区民・事業者等への普及啓発事業など幅広い事業を行っている。

(1) 粗大ごみの収集事業

粗大ごみ受付センターへの申込みにより決定した収集日に粗大ごみを収集し、区が指定する中継処理施設へ搬入した。

＜粗大ごみ収集の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量(t)	527.99	541.44	469.92	480.62	466.29	428.64	2,914.90
収集件数	24,405	26,048	23,327	23,910	22,824	21,645	142,159
収集量前年同月比	104.6%	94.0%	94.8%	98.4%	96.6%	85.7%	95.6%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量(t)	488.47	508.57	499.71	429.12	443.95	481.95	5,766.67
収集件数	23,558	26,183	25,519	23,919	21,757	21,785	284,880
収集量前年同月比	94.0%	102.8%	96.9%	98.7%	103.9%	94.4%	96.9%

(2) センターの受託運営

区の資源循環推進の拠点であるセンターにおいて、つぎの事業を行った。

① 粗大ごみの持込み事業

区民が直接持ち込む粗大ごみを受け取り、区が指定する中継処理施設へ搬入した。

＜粗大ごみ持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
持込量(t)	48.74	54.96	54.04	47.34	50.14	48.69	303.91
持込件数	1,966	2,189	2,110	2,050	1,987	1,946	12,248
持込量前年同月比	93.9%	96.6%	100.2%	89.9%	96.4%	92.6%	95.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持込量(t)	50.39	54.83	54.72	45.81	51.30	57.27	618.23
持込件数	2,094	2,280	2,267	2,107	1,917	2,047	24,960
持込量前年同月比	90.3%	112.0%	107.1%	103.7%	115.0%	101.4%	99.5%

② 粗大ごみの再使用事業

粗大ごみの中から再使用が可能なものを、簡易な修理や清掃を行い、区内4か所のリサイクルセンター（関町、春日町、豊玉、大泉）に提供した。

<再使用の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
再使用(点)	540	520	520	530	540	520	3,170
前年同月比	103.4%	98.1%	99.0%	106.0%	105.9%	100.0%	102.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
再使用(点)	510	540	320	480	480	540	6,040
前年同月比	91.9%	106.9%	80.0%	87.3%	98.0%	98.2%	98.1%

③ 粗大ごみの資源化事業

1) 金属類の資源化事業

粗大ごみから有用金属を取り出すため、分解、選別し、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<金属類回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
非鉄類(t)	0.89	0.87	0.94	1.03	1.00	1.08	5.81
有害金属(t)	3.89	4.30	3.62	2.78	3.21	2.42	20.22
計	4.78	5.17	4.56	3.81	4.21	3.50	26.03
前年同月比	97.6%	98.7%	106.5%	82.3%	96.8%	91.4%	95.6%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非鉄類(t)	1.05	1.07	1.10	0.95	0.91	0.90	11.79
有害金属(t)	3.27	4.48	3.97	4.29	3.76	3.49	43.48
計	4.32	5.55	5.07	5.24	4.67	4.39	55.27
前年同月比	91.9%	106.7%	86.5%	121.3%	108.4%	87.3%	97.6%

※回収量は当センター分のみ

2) 布団の資源化事業

粗大ごみの中から布団を選別し、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<ふとんの月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量(kg)	4,985	4,845	3,830	3,645	2,225	3,020	22,550
前年同月比	100.4%	82.0%	62.1%	53.4%	45.8%	61.6%	67.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(kg)	2,890	2,920	3,450	3,340	3,350	2,585	41,085
前年同月比	43.8%	44.6%	41.3%	55.4%	70.7%	48.6%	57.7%

※回収量は、土支田中継所回収分を含む

3) 衣装ケースの資源化事業

衣装ケースを材料リサイクルするため、令和6年10月から回収を開始した。回収した衣装ケースを選別し、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<衣装ケースの月別実績>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(kg)	1,210	8,420	7,690	6,550	7,850	7,940	39,660

※回収量は当センター分のみ

④ 小型家電製品の回収事業

区内 16 か所に設置している小型家電製品の回収ボックスから回収した、携帯電話・スマートフォンを含む小型家電製品（13 品目）を品目毎に選別し、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<小型家電回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	23.50	21.52	38.74	14.34	5.92	25.06	129.08
前年同月比	126.2%	171.1%	260.3%	169.5%	26.1%	84.5%	120.8%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	21.40	23.90	26.20	21.49	23.24	20.38	265.69
前年同月比	114.6%	127.5%	190.7%	79.8%	199.7%	70.6%	117.8%

※回収量は当センター分のみ

⑤ 古布回収事業

家庭で不用になった古着・古布の回収拠点として、毎週日曜の午前9時から正午まで持込みによる回収を行い、区が指定する回収事業者に引き渡した。

<古布回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	6,440	6,250	4,830	2,790	3,300	3,100	26,710
前年同月比	91.3%	109.8%	111.3%	48.0%	100.6%	96.3%	90.9%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	3,670	4,870	5,260	4,370	3,570	6,280	54,730
前年同月比	70.8%	112.2%	98.5%	159.5%	107.9%	112.9%	98.0%

※回収量は当センター分のみ

⑥ 廃食用油の回収事業

家庭で不用になった使用済み食用油の回収拠点として、毎週日曜の午前9時から正午まで持込みによる回収を行い、区が指定する回収事業者に引き渡した。

<廃食用油回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	190.78	191.24	198.72	172.78	152.74	150.92	1,057.18
前年同月比	123.6%	62.3%	226.1%	116.5%	122.6%	100.2%	108.7%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	113.86	158.34	143.44	183.20	113.20	142.94	1,912.16
前年同月比	85.2%	186.0%	81.7%	221.0%	141.0%	96.9%	114.0%

※回収量は当センター分のみ

⑦ その他資源の持込みによる回収

センターは、家庭で不用になったなべ・やかん・フライパンの回収拠点となっている。さらに、電池、紙パックおよび使用済みインクカートリッジの回収ボックスを常設している。

⑧ 資源循環の推進に関する相談および普及・啓発

センターに設置してある「見て学べる展示スペース」や太陽光発電等の環境配慮設備等を活用して、資源循環の推進に係る普及・啓発事業を実施した。

1) 区民からの相談受付

清掃・リサイクルに関する相談や問い合わせを受けるとともに、施設見学者や来所者に対し、資源循環に関する情報提供を行った。

2) 施設見学の受け入れ

センターは、区の循環型社会の形成をめざした施設と位置付けられており、区民、中学生等の施設見学を受け入れた。

<施設見学の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
団体数	0	0	3	1	1	4	9
団体人数	0	0	23	4	4	11	42
個人	3	0	1	0	6	2	12
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	4	1	0	1	0	0	15
団体人数	13	3	0	69	0	0	127
個人	2	4	0	0	0	0	18

3) 環境学習講座

ごみの減量化や資源化についての意識啓発を図るため、小学生とその保護者を対象に、小型家電リサイクル工場のバス見学会やセンターでの社会科見学会を開催した。

・バス見学会

実施日：令和6年10月26日（土）

見学先：リーテム(株)東京工場（大田区城南島 3-2-9）

参加者：22名（小学生10名、保護者12名）

・社会科見学会

実施日：令和7年2月11日（火・祝）

見学先：練馬区資源循環センター（練馬区谷原 1-2-20）

参加者：5名（小学生3名、保護者2名）

4) 環境イベントへの出展

公社の資源循環推進事業を広く知ってもらうため、各種イベントに出展した。

・パパルフェスティバル（近隣のコヤマドライビングスクールのイベント）

開催日時：令和6年5月19日（日） 午前10時～午後3時

内 容：リチウムイオン電池についての普及啓発、粗大ごみの再使用過程上映

リチウムイオン電池が含まれる不燃ごみの出し方の展示や粗大ごみで出された家具が再使用されるまでの過程を映像で上映するなど、資源循環推進事業の啓発を行った。

・関町リサイクルセンター環境月間イベント

開催日時：令和6年6月2日（日） 午前10時～午後3時

内 容：『クイズに挑戦！本当はこわいリチウムイオン電池』

ごみの分別体験ができるクイズを実施して、参加者にリチウムイオン電池の危険性について知ってもらった。

資源循環について考えるきっかけとなるよう、粗大ごみで出された家具が再使用されるまでの過程を映像で上映した。

・ねりま環境まなびフェスタ 2024

開催日時：令和6年7月27日（土） 午前10時～午後4時

内 容：『みんな知らないリサイクル最前線』

輪投げ、スマートボールなどのゲームやリチウムに関するクイズ、発火物の展示や発火映像の上映を通して、参加者にリサイクルに関する気づきと学びの場を提供した。

・スタート！エコライフ 2025

開催日：令和7年2月13日（木）～2月17日（月）

内 容：『資源循環センターメソッド 中学生職場体験報告会』

職場体験に参加した生徒たちの作業写真の展示や、付箋に書いたコメントを黒板に貼り付ける報告会の映像を上映。見学者に追体験していただくことで、環境について明日からできることを考える場を提供した。

⑨ 集団回収支援事業

町会・自治会などの団体が、自主的に資源を回収するリサイクル活動に対して、センターは、活動を拡大するためのPR、団体と回収事業者間の調整、地域懇談会の開催、集団回収に必要な用具類の提供および回収実績の取りまとめ業務等を行っている。

また、資源回収活動団体に対して回収量に応じた報奨金が半年ごとに区から支給されるため、そのお知らせを8月と2月に発送した。

<登録団体数等の実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新規登録団体数	0	0	0	0	0	0	0
廃止団体	2	0	1	0	0	0	3
総登録団体数	657	657	656	656	656	656	
回収量(t)	675.70	639.75	699.17	562.92	593.53	569.74	3,740.81
前年同月比	93.5%	89.3%	85.1%	98.8%	96.0%	95.2%	92.4%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録団体数	0	1	0	1	0	0	2
廃止団体	1	0	0	0	0	0	4
総登録団体数	655	656	656	657	657	657	
回収量(t)	532.69	639.25	792.24	538.45	592.84	598.87	7,435.15
前年同月比	82.8%	108.1%	90.3%	90.2%	104.0%	87.1%	92.8%

⑩ 資源循環の推進に係る民間事業者等の支援・育成事業

集団回収を実施する予定の団体が希望する場合は、回収予定事業者と一緒に集団回収の説明を行っている。また、回収事業者には、集団回収できる品目（古紙、古布、缶など）を積極的に回収するよう協力要請を行った。

⑪ 生ごみ資源化支援事業

センターは、生ごみコンポスト化容器あっせん申込みの受付を行っている。

<生ごみコンポスト化容器のあっせん実績> 実績なし

⑫ 大型生活用品情報掲示板事業

区民から申込みのあった「譲ります」「譲ってください」の情報を一覧にした資料を作成し、区内16か所の情報掲示板に掲示した。

<「譲ります」の実績> 掲示68件 成立30件

<「譲ってください」の実績> 掲示17件 成立1件

4 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業〔定款第4条第1項第6号〕

公社は、公衆衛生の向上や環境保全を図るため、可燃ごみ・不燃ごみ収集業務の一部を区から受託している。現在、区内の可燃ごみ排出量の概ね7割を公社が収集している。

(1) 可燃ごみの収集事業

区内の家庭などから排出される可燃ごみを、日曜を除く週6日収集し、区が指定する清掃工場に搬入した。

<可燃ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量(t)	6,607.98	6,773.78	6,086.91	6,657.71	6,145.11	5,815.00	38,086.49
区全体量(t)	9,668.67	9,840.88	8,859.54	9,729.49	8,959.33	8,483.24	55,541.15
公社収集比率	68.3%	68.8%	68.7%	68.4%	68.6%	68.5%	68.6%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量(t)	6,411.08	6,172.75	6,287.53	6,058.15	5,161.23	5,912.85	74,090.08
区全体量(t)	9,348.96	8,971.86	9,330.35	9,338.38	7,558.29	8,669.36	108,758.35
公社収集比率	68.6%	68.8%	67.4%	64.9%	68.3%	68.2%	68.1%

(2) 収集拠点の運営

可燃ごみの収集拠点である、区東部地域は桜台事業所を、区西部地域は石神井事業所(石神井清掃事務所4階)を管理し、その機能維持に努めた。

5 不燃ごみの資源化事業〔定款第4条第1項第6号〕

不燃ごみ中継施設の施設管理と事業運営を令和4年度から受託している。中継施設では、区内全域の家庭から排出された不燃ごみから金属類や小型家電などの資源化可能物を選別、回収し、蛍光管やスプレー缶は減容処理した後、区が指定する資源化事業者に引き渡した。

<不燃ごみ資源化の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
資源[金属類](t)	59.10	60.94	54.49	51.48	58.90	59.64	344.55
資源[小型家電](t)	35.79	37.11	30.53	29.83	35.09	34.89	203.24
資源[蛍光管](t)	2.63	2.25	2.17	2.56	2.11	2.05	13.77
資源[二次電池](t)	0.85	0.90	0.85	0.83	0.95	0.99	5.37
資源物合計(t)	98.37	101.20	88.04	84.70	97.05	97.57	566.93
資源化率	32.5%	32.9%	31.6%	33.3%	34.3%	34.3%	33.2%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
資源[金属類](t)	53.81	57.36	68.70	54.34	55.92	50.17	684.85
資源[小型家電](t)	30.80	34.00	41.80	32.88	31.80	28.69	403.21
資源[蛍光管](t)	2.54	2.36	3.00	2.63	3.14	2.22	29.66
資源[二次電池](t)	0.91	1.05	1.13	1.27	1.14	0.96	11.83
資源物合計(t)	88.06	94.77	114.63	91.12	92.00	82.04	1,129.55
資源化率	33.5%	34.2%	34.0%	33.8%	34.1%	33.2%	33.5%

6 地球温暖化の防止対策に関する事業〔定款第4条第1項第7号〕

公社は、区から練馬区地球温暖化対策地域協議会（愛称は「ねり☆エコ」。以下「協議会」という。）の事務局運營業務を受託し、運営に当たった。

（1）令和6年度の事業

① 環境イベントの開催

1）環境月間パネル展

6月の環境月間に、区と連携してパネル展を開催した。同時期に実施した講演会のテーマに合わせて、ブルーカーボンに関するパネルや、こどもエコ・コンクールの近年の作品の中から「海と環境」をテーマとした作品の展示を行った。

開催日：令和6年5月30日（木）～6月5日（水）

会場：練馬区役所本庁舎1階アトリウム

観覧者数：約3,500名

2）ねりま環境まなびフェスタ2024

小・中学生とその保護者を対象に、エネルギーを作る実験や、模型による地球温暖化の仕組みの実演、リサイクル体験、生きものとの触れ合い等、環境について楽しく学べ、夏休みの宿題や自由研究のヒントとなる参加・体験型のイベントを開催した。3回目となる令和6年度は、新たな事業者や団体の出展、ブース配置の工夫等により、来場者が会場をスムーズに回りながら多くの体験ができる場とした。

開催日時：令和6年7月27日（土）午前10時～午後4時

会場：ココネリ3階

参加団体：27団体

来場者数：約1,700名

3）練馬まつり・消費生活展

練馬まつり、消費生活展ねりま2024に出展した。「クイズに答えてお家の省エネにチャレンジ！～たのしく学ぼう！地球温暖化対策～」をテーマに、簡易電力量計を使った家電の消費電力測定を実施し、消費電力の差を実感してもらうことにより、省エネ意識の啓発を図った。その他、ソーラーパネルを使った蓄電池の展示やクイズ、シールアンケート、啓発グッズの配布等を行った。

【練馬まつり】

日時：令和6年10月20日（日）午前10時～午後3時

会場：開進第二中学校

ねり☆エコブース来場者数：約600名

【消費生活展ねりま2024】

日時：令和6年11月23日（土・祝）午前10時～午後4時

会場：石神井公園区民交流センター

ねり☆エコブース来場者数：約380名

4) 四季の香ローズガーデンオータムフェスティバル (初出展)

「ねりまのみどりとつながる活動紹介&こどもエコ・コンクール作品展」と題して、みどりのまちづくりセンターと連携してパネル展を行った。近年のエコ・コンクール作品の中から、「ねりまのみどり」に関する作品を展示した。また、「ねりねこ☆多」「ねりこんvv」による、ねり☆エコの活動のPRを行った。

期間：令和6年10月17日(木)～11月4日(月・休)

会場：練馬区立四季の香ローズガーデン

5) スタート!エコライフ2025

節電・省エネ等、地球温暖化対策を家庭から実践するためのヒントについて、協議会会員団体・協力団体がパネル展示やパンフレットの配布等により紹介した。

期間：令和7年2月8日(土)～2月17日(月)

会場：練馬区役所本庁舎1階アトリウム

出展団体数：22団体

観覧者数：約4,000名

② 区民向け講演会

1) 環境月間講演会

6月の環境月間に合わせて、海の哺乳類をテーマとした講演会を開催した。小学4年生以上を対象に、海岸に打ちあがるクジラやイルカなど海の哺乳類の調査・研究から、気候変動がもたらす人間を含めた生物への影響や生物多様性の重要性などを学ぶことで、地球温暖化対策の実践につなげるきっかけとした。

演題：「海の哺乳類からのメッセージ」

日時：令和6年6月2日(日)午後2時～4時

会場：練馬区役所本庁舎1階アトリウム 地下多目的会議室

講師：国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ研究主幹

田島 木綿子 氏

参加者数：151名

③ 青少年向け啓発事業

1) こどもエコ・コンクール

ア 第14回作品募集・展示

区内の小学3年生から中学2年生を対象に、地球環境をテーマとした絵画作品を募集した。入賞作品はじめ、寄せられた作品の一部を練馬区役所1階アトリウム等で展示した。最優秀賞の作品を表紙とした地球温暖化対策の啓発用オリジナルノートを作製し、各種イベントで配布した。

募集期間：令和6年7月21日(日)～9月6日(金)

応募作品数：2,749作品(小学生部門 658作品、中学生部門2,091作品)

入賞作品数：小学生部門 最優秀賞1、優秀賞2、入選6

中学生部門 最優秀賞1、優秀賞2、入選7

【第14回エコ・コンクール100選展】

期間：令和6年12月23日（月）～令和7年1月14日（火）

会場：練馬区役所本庁舎1階アトリウム

観覧者数：約6,000名

イ 区立施設・イベント等での展示

主に6月の環境月間に合わせて、区内の図書館6館で、令和5年度に実施した第13回こどもエコ・コンクールの作品を展示した。入賞作品に加え、各施設周辺の小・中学校の児童・生徒の作品を展示することで、来場者が環境問題を身近に感じられる機会としている。

また、新たに環境月間パネル展、区立四季の香ローズガーデンオータムフェスティバルで展示した。環境月間パネル展では同時開催の講演会の内容に合わせて「海と環境」をテーマとした作品、区立四季の香ローズガーデンでは「ねりまのみどり」をテーマとした作品など、テーマ別の展示を初めて実施した。

【こどもエコ・コンクール作品展示一覧】

場所	展示期間	展示内容
光が丘図書館	令和6年 5/28(火)～6/23(日)	第13回入賞作品、地域の小・中学生の作品 【小学校】 光が丘秋の陽／光が丘第八／旭町／田柄 【中学校】 光が丘第一／光が丘第三
大泉図書館	令和6年 5/28(火)～6/23(日)	第13回入賞作品、地域の小・中学生の作品 【小学校】 大泉／大泉第三／大泉西／大泉北／大泉学園緑／大泉学園桜／泉新 【中学校】 大泉／大泉西／大泉北／大泉学園桜
南大泉図書館分室 こどもと本のひろば	令和6年 5/28(火)～6/23(日)	第13回入賞作品、地域の小学生の作品 【小学校】 大泉第二／大泉第四／大泉第六／大泉南
貫井図書館	令和6年 ①5/28(火)～6/23(日) 地域の小・中学生の作品	第13回入賞作品、地域の小・中学生の作品 【小学校】 練馬第三／向山／中村／

	② 6/25(火)～7/21(日) 第13回入賞作品	中村西 【中学校】 貫井
南田中図書館	令和6年 6/4(火)～8/4(日)	第13回入賞作品、地域の小・ 中学生の作品 【小学校】 南が丘／南田中／富士見台 【中学校】 石神井東
春日町図書館	令和6年 7/9(火)～8/25(日)	第13回入賞作品、地域の小・ 中学生の作品 【小学校】 練馬東／練馬／光が丘夏の雲 ／高松／田柄第二／早宮 【中学校】 田柄
環境月間パネル展 (練馬区役所1階ア トリウム)	令和6年 5/30(木)～6/5(水)	海と環境をテーマにした作品
ねりま環境まなびフ ェスタ2024(ココネ リ3階)	令和6年 7/27(土)	第13回入賞作品
四季の香ローズガー デンオータムフェス ティバル	令和6年 10/17(木)～11/4(月)	ねりまのみどりをテーマにし た作品
スタート!エコライ フ2025(練馬区役所 1階アトリウム)	令和6年 2/8(土)～2/17(月)	第14回入賞作品
石神井公園駅西自転 車駐車場	①令和6年2/15(木)～4/18(木) ②令和6年4/18(木)～9/13(金) ③令和6年9/13(金)～ 令和7年2/27(木) ④令和7年2/28(金)～	①第13回小学生部門入賞作品 ②第13回中学生部門入賞作品 ③光和小学校の作品 ④第14回小学生部門入賞作品
東京メトロ平和台駅 地下連絡通路	①令和6年11/27(水)～12/11(水) ②12/12(木)～12/27(金) ③12/28(土)～令和7年1/15(水) ④1/16(木)～1/31(金) ⑤2/1(土)～2/14(金)	①第12回小学生部門 ②第12回中学生部門 ③第13回小学生部門 ④第13回中学生部門 ⑤第14回小学生部門

	⑥2/15(土)～2/28(金)	⑥第14回中学生部門 ※全て入賞作品
--	------------------	-----------------------

2) マスコットキャラクター派遣

マスコットキャラクター「ねりねこ☆彡」「ねりこんvv」を各種イベントに派遣し、ねり☆エコの活動や地球温暖化対策のPRを行った。

- ア 環境月間講演会、関町リサイクルセンター：令和6年6月2日（日）
- イ ねりま環境まなびフェスタ2024：令和6年7月27日（土）
- ウ 練馬まつり：令和6年10月20日（日）
- エ 四季の香ローズガーデンオータムフェスティバル：令和6年10月26日（土）
- オ 旭町広場の祭典：令和6年11月10日（日）
- カ 関町リサイクルセンター3R推進月間：令和6年11月17日（日）
- キ 消費生活展ねりま2024：令和6年11月23日（土・祝）

④ 地球温暖化対策の調査・区民支援事業

1) ねり☆エコホームページ

子育て・働き盛り世代への啓発強化の一環として、ねり☆エコホームページの特設ページにコンテンツを増設した。ホームページを周知するためのチラシを区内小中学校の全児童・生徒や公共施設に配布した。合わせて、教育委員会と連携し、児童・生徒用に配布されているタブレットからねり☆エコのホームページにアクセスできるようにした。

また、令和7年度に予定しているホームページ全体構成の整理に向けて検討を進めた。

ア ねり☆エコ e-ラーニング

主に小学5年生以上を対象とした既存の4コース「地球温暖化対策編」「ねりまのエコ編」「ねり☆エコ地球温暖化クイズ「基礎知識編」」「ねり☆エコ地球温暖化クイズ「おうちのエコ編」」について、設問・解説を最新情報に更新した。

イ ねりまのエコ暮らし帳

居住空間に合わせた省エネのコツや、地域のエコな取組の紹介等、子育て・働き盛り世代が自らアクションを起こすきっかけとなるようなコンテンツを増設した。

【居住空間に合わせた省エネのコツ】

- ・キッチン編：「減らそう！食品ロス&二酸化炭素（CO₂）」
- ・リビング編：「季節ごとのちょっとした暮らしの工夫 ー寒い季節編ー」「季節ごとのちょっとした暮らしの工夫 ー暑い季節編ー」「一家団らんでエコライフ！」
- ・建物・みどり編：「コンポストでみどりと食が循環する暮らし」
- ・ミニコーナー：「環境にやさしい製品選びの目印！環境ラベル」「エネルギーを賢く使った省エネ・安心・快適な暮らし「HEMS(ヘムス)」」

【地域のエコな取り組みレポート「エコまちねりま」】

- ・「ペットボトルは繰り返し使える循環資源へ」

令和6年度に区と協定を締結し、「ボトルtoボトル」水平リサイクルを推進しているサントリーホールディングス㈱のサステナビリティな取り組みを紹介。

ウ ねり☆エコ動画

「エコまちねりま」に合わせて、「ねりねこ☆彡」「ねりこんvv」がサントリーの担当者にインタビューする1分の動画5本と4分の動画1本を制作した。

「エコまちねりま」と連携した初めての試みで、YouTubeでも公開するほか、各種イベント等でも使用する。

エ エコ語り

「小口深志 ねり☆エコ会長」を取材し、脱炭素社会に向けてねり☆エコとして力を入れていきたい取組や、自身のエコライフなどを紹介した。

2) 地域活動を担う人材への支援

地域活動を担う人材や団体などの支援のため、ねり☆エコの各種事業の企画に参画できる機会を提供している。ねりま環境まなびフェスタ、スタート！エコライフでは、地域活動団体に出展してもらい、活動をPRできる機会を提供した。

ホームページでは、団体の環境活動について紹介する記事を掲載している。

⑤ 事業者向け支援

事業者が取り組む地球温暖化対策を促進するため、区内事業者団体の広報誌と一緒に、補助制度などを紹介するチラシを配布した。また、効果的な啓発を行うため、新たに東京都が事業者向けに実施している脱炭素の取組「東京都H T T実践推進ナビゲーター事業」との連携を開始した。区内事業者団体の定例会などで、脱炭素の必要性、環境に配慮した経営の具体的な取組方法等について紹介した。

⑥ 広報業務

ホームページやメールマガジン、X（旧Twitter）により事業などを周知した。

[更新・発行回数]

ホームページの更新：65回（閲覧数：138,583件）

メールマガジンの配信：6回（登録数：324件）Xポスト：22回

⑦ 運營業務

1) 協議会の各種会議運營業務

総会1回、役員会3回、事業部会4回、調査・区民支援事業担当委員会3回

2) 協議会の窓口業務

協議会や会員が行う事業の関係者との連絡・調整、協議会への相談・問い合わせ対応など

事業報告の附属明細書

公益財団法人練馬区環境まちづくり公社定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に包含して掲載しているため、作成しない。

I 評議員会および理事会の開催状況

定款第 17 条および第 30 条の規定に基づき、令和 6 年度に開催した評議員会および理事会はつぎのとおりである。各案件について決議した。

1 評議員会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第 1 回	令和 6 年 6 月 13 日 (木) 出席評議員 6 名 出席監事 2 名	議案第 1 号 理事の選任について 議案第 2 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社令和 5 年度事業報告および事業 報告の附属明細書について 議案第 3 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社令和 5 年度決算について 報告第 1 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社特定費用準備資金等取扱規程の 制定および令和 5 年度剰余金につい て 報告第 2 号 中期経営計画 令和 5 年度取組達成 状況の自己評価について 報告第 3 号 規程等の制定・改正について
第 2 回	令和 7 年 3 月 21 日 (金) 出席評議員 7 名	議案第 4 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社役員および評議員の報酬等なら びに費用弁償に関する規程の一部改 正について 議案第 5 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり 公社常勤理事の令和 7 年度報酬月額 および支給賞与額について 報告第 4 号 令和 7 年度公益財団法人練馬区環境 まちづくり公社事業運営方針針 報告第 5 号 令和 7 年度公益財団法人練馬区環境 まちづくり公社事業計画 報告第 6 号 令和 6 年度公益財団法人練馬区環境 まちづくり公社予算ならびに資金調 達および設備投資の見込み 報告第 7 号 令和 6 年度役員等賠償責任保険契約 の締結およびその内容決定について 報告第 8 号 要綱等の一部改正・制定について

		報告第9号 社員の処遇について
--	--	-----------------

2 理事会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第1回	令和6年5月28日(火) 出席理事 12名 監事 2名	議案第1号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 令和5年度事業報告および事業報告の附属明細書について 議案第2号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 令和5年度決算について 議案第3号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 特定費用準備資金等取扱規程の制定について 議案第4号 令和5年度剰余金について 議案第5号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 情報公開に関する規程の一部改正について 報告第1号 中期経営計画 令和5年度取組達成状況の 自己評価について 報告第2号 要綱等の一部改正について 報告第3号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告 について
第2回 文書に よる同意	令和6年6月5日(水)	議案第6号 評議員会開催時間等の変更について
第3回	令和6年11月13日(水) 出席理事 12名 監事 1名	議案第7号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 特定費用準備金の保有について 議案第8号 評議員会の開催について 報告第4号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告 について 報告第5号 令和6年度上半期事業執行状況および 令和6年度上半期予算執行状況について 報告第6号 要綱等の一部改正について
第4回	令和7年3月12日(水) 出席理事 13名 監事 2名	議案第9号 令和7年度公益財団法人練馬区環境まちづ くり公社事業運営方針 議案第10号 令和7年度公益財団法人練馬区環境まち

		<p>づくり公社事業計画</p> <p>議案第 11 号 令和 7 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 予算ならびに資金調達および設備投資の見込み</p> <p>議案第 12 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 事務局組織および処務に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第 13 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員就業規則の一部改正について</p> <p>議案第 14 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員の育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第 15 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員の給与規程の一部改正について</p> <p>議案第 16 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員の退職手当に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第 17 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 財務規程の一部改正について</p> <p>議案第 18 号 令和 7 年度役員等賠償責任保険契約の締結およびその内容決定について</p> <p>議案第 19 号 評議員会の開催について</p> <p>報告第 7 号 要綱等の一部改正について</p>
--	--	--

Ⅱ 評 議 員 名 簿

令和7年3月31日現在

役 職 名	氏 名
評 議 員	井 口 薫
評 議 員	石 塚 康 夫
評 議 員	秋 山 勉
評 議 員	高 橋 利 充
評 議 員	猪 飼 昭 彦
評 議 員	植 田 敏 裕
評 議 員	小 暮 文 夫

Ⅲ 役員名簿

令和7年3月31日現在

	役職名	常・非	氏名
理事	理事長	常勤	小西 将雄
	常務理事	常勤	市村 保
	常務理事	常勤	藤田 光威
	理事	常勤	乾 嘉行
	理事	非常勤	江村 健二
	理事	非常勤	三宅 泉
	理事	非常勤	小口 深志
	理事	非常勤	市川 哲也
	理事	非常勤	竹内 健
	理事	非常勤	大澤 琢朗
	理事	非常勤	神山 博之
	理事	非常勤	鈴木 正明
理事	非常勤	金沢 景一	
監事	監事	非常勤	本橋 清彦
	監事	非常勤	近藤 雅彦